

## Mozilla Thunderbird [POP 新規設定編]

—はじめに—

メール設定前に【設定項目表】を準備し、【メールアドレス】と【パスワード】をご確認ください

—動作環境—

本マニュアルは以下の動作環境で作成しております

- |        |                              |
|--------|------------------------------|
| ・OS    | : Windows 10                 |
| ・バージョン | : Mozilla Thunderbird 60.6.1 |

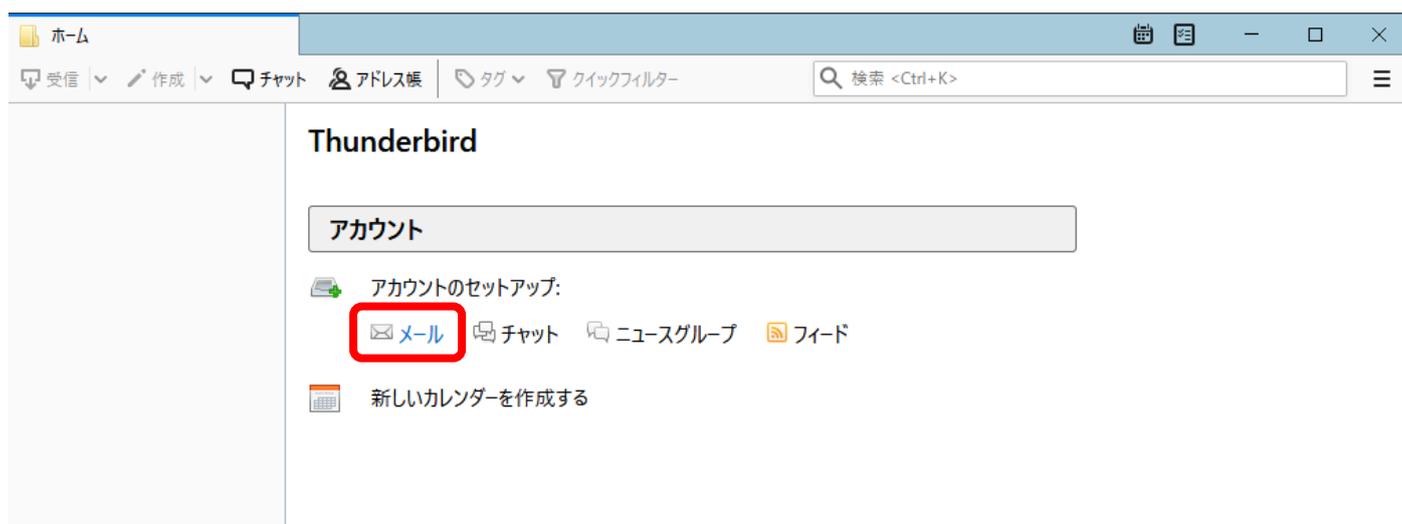
### STEP1

Thunderbird を起動します



### STEP2

【メール】をクリックします



## STEP3

各項目に設定情報を入力、【パスワードを記憶する】にチェックを入れ、【続ける】をクリックします

	項目	入力内容
A	あなたのお名前(N)	受信者に表示される名前です
B	メールアドレス(E)	設定項目表の『 <b>メールアドレス</b> 』を入力します
C	パスワード(P)	設定項目表の『 <b>パスワード</b> 』を入力します

## STEP4

【POP3 (メールをコンピュータに保存)】をチェックし、【手動設定(M)】をクリックします

## STEP5

各項目に設定情報を入力、【詳細設定(A)】をクリックします

項目		入力内容	
受信サーバー	POP3	サーバーのホスト名	『 <b>mbox.ueda.ne.jp</b> 』を入力します
		ポート番号	『 <b>995</b> 』を選択します
		SSL	『 <b>SSL/TLS</b> 』を選択します
		認証方式	『 <b>暗号化されたパスワード認証</b> 』を選択します
送信サーバー	SMTP	サーバーのホスト名	『 <b>mbox.ueda.ne.jp</b> 』を入力します
		ポート番号	『 <b>465</b> 』を選択します
		SSL	『 <b>SSL/TLS</b> 』を選択します
		認証方式	『 <b>暗号化されたパスワード認証</b> 』を選択します
ユーザー名	受信サーバー	設定項目表の『 <b>メールアドレス</b> 』を入力します	
	送信サーバー	設定項目表の『 <b>メールアドレス</b> 』を入力します	

既存メールアカウントのセットアップ ×

あなたのお名前(N):  受信者に表示される名前です

メールアドレス(E):  既存のメールアドレスです

パスワード(P):   パスワードを記憶する(M)

アカウント設定が、一般的なサーバー名で検索したことにより見つかりました。

	サーバーのホスト名	ポート番号	SSL	認証方式
受信サーバー: POP3	<input type="text" value="mbox.ueda.ne.jp"/>	995	SSL/TLS	暗号化されたパスワード認証
送信サーバー: SMTP	<input type="text" value="mbox.ueda.ne.jp"/>	465	SSL/TLS	暗号化されたパスワード認証

ユーザー名: 受信サーバー:  送信サーバー:

## STEP6

設定は変更せず、【OK】をクリックします

アカウント設定

サーバー設定

サーバーの種類: POP メールサーバー

サーバー名(S): mbox.ueda.ne.jp      ポート(P): 995      既定値: 995

ユーザー名(N): [redacted]@ueda.ne.jp

セキュリティ設定

接続の保護(U): SSL/TLS

認証方式(I): 暗号化されたパスワード認証

サーバー設定

新着メッセージがないか起動時に確認する(C)

新着メッセージがないか(Y) 10 分ごとに確認する

新着メッセージを自動的にダウンロードする(M)

ハッダーのみ取得する(E)

ダウンロード後もサーバーにメッセージを残す(G)

ダウンロードしてから(Q) 14 日以上経過したメッセージは削除する

ダウンロードしたメッセージを削除したらサーバーからも削除する(D)

メッセージの保存

終了時にごみ箱を空にする(X)

メッセージの格納形式(I): フォルダー単位 (mbox 形式)

メッセージの保存先:

OK      キャンセル

システム統合のダイアログが表示された場合は、【統合をスキップ】をクリックしてください

システム統合

Thunderbird を次の既定のクライアントとして使用する:

メール

ニュース

フィード

起動時に Thunderbird が既定のクライアントとして設定されているか確認する(A)

既定として設定      統合をスキップ

## STEP7

セキュリティ例外の追加のダイアログが表示されたら、サーバー情報の URL: が【mbox.ueda.ne.jp:995】であることを確認し、【次回以降にもこの例外を有効にする(P)】にチェックし、【セキュリティ例外を承認(C)】をクリックします  
※受信サーバーと接続するために表示されるダイアログです

セキュリティ例外の追加

例外的に信頼する証明書としてこのサイトの証明書を登録しようとしています。  
本物の銀行、通信販売、その他の公開サイトがこの操作を求めることはありません。

サーバー

URL:

証明書の状態

このサイトでは不正な証明書が使用されており、サイトの識別情報を確認できません。

不明な証明書です

安全な署名を使っている信頼できる認証局が発行されたものとして検証されていないため、このサイトの証明書は信頼されません。

次回以降にもこの例外を有効にする(P)

以上で設定終了です

## 補足

初めてメールを送信する場合、セキュリティ例外の追加のダイアログが表示されたら、サーバー情報の URL: が【mbox.ueda.ne.jp:465】であることを確認し、【次回以降にもこの例外を有効にする(P)】にチェックし、【セキュリティ例外を承認(C)】をクリックします

※送信サーバーと接続するために表示されるダイアログです

セキュリティ例外の追加

 例外的に信頼する証明書としてこのサイトの証明書を登録しようとしています。  
本物の銀行、通信販売、その他の公開サイトがこの操作を求めることはありません。

サーバー

URL:

証明書の状態

このサイトでは不正な証明書が使用されており、サイトの識別情報を確認できません。

不明な証明書です

安全な署名を使っている信頼できる認証局が発行されたものとして検証されていないため、このサイトの証明書は信頼されません。

次回以降にもこの例外を有効にする(P)